

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
松元 一明			
B（経営学科）	S（専門科目）	CS（地域）	202（中級科目）

授業のねらい（概要）	少子化や高齢化、人口減少など急速な社会構造の変化を迎えているわが国では、都市部や農村部といった特定の地域に限らず、各地域社会においてさまざまな課題が顕在化している。 本講義では、地域社会＝コミュニティにおける問題の背景にある社会的な構造を理解し、問題を多角的に捉えることに合わせて、地域社会における課題解決に取り組む人びとや組織と、その活動について知ることを目的とする。以上の学びを通じて、ディプロマポリシーに記載のある「大学での学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢」を学生が身に着けることをねらいとしている。		
授業計画	第1回	「地域社会論の射程（イントロダクション）」 地域社会論の授業計画と内容についての説明のほか、履修上の注意点を示す。また簡単に受講者の自己紹介もおこなう。 予習：シラバスをよく読んで、確認したいことをメモしておく。自己紹介で話すことを考えておくこと。（60） 復習（時間）：シラバスや授業計画などの配布資料をよく確認するとともに、課題について学習をおこなう。（120）	
	第2回	「地域・コミュニティとは」 地域社会論の対象となる「地域」や「コミュニティ」とは何なのか、地域社会学の観点から概念の説明をおこなう。また地域・コミュニティの問題・課題やその背景について概要を示す。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第3回	「地域・コミュニティをめぐる問題①」 地域・コミュニティをめぐるさまざまな問題について、その社会的な背景を含めて考える。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第4回	「地域・コミュニティをめぐる問題②」 具体的な事例から、地域・コミュニティをめぐる問題を知ることと、その解決について考える。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第5回	「コミュニティの諸組織（自治会・町内会）」 コミュニティにおける住民の自治組織として中心的な役割を果たしている自治会・町会について、その源流を知るとともに、自治会や町内会の現状と課題について考える。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第6回	「基礎自治体と地域政策」 コミュニティに一番身近な行政組織である基礎自治体（市町村）についての基本的知識を得るとともに、行政による地域政策について学ぶ。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第7回	「住民運動、市民活動とNPO」 地域・コミュニティにおける社会的な課題について取り組んできた、住民運動や市民活動、NPOについて、その歴史的な経緯と役割について学ぶ。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第8回	「震災とコミュニティ」 東日本大震災の事例を通じて、地域・コミュニティの果たす重要性について考察する。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第9回	「コミュニティにおけるボランティアとNPO①」 地域・コミュニティの課題を解決し、魅力ある地域づくりをおこなう市民活動やボランティア、NPOの意義について、具体的事例を通じて学ぶ。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第10回	「コミュニティにおけるボランティアとNPO②」 地域・コミュニティの課題を解決し、魅力ある地域づくりをおこなう市民活動やボランティア、NPOの意義について、具体的事例を通じて学ぶ。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120）	
	第11回	「中間ふりかえりとグループワーク」	

	これまでの講義を振り返り、学びを整理するとともに、地域社会論のテーマに沿ったグループワークをおこなう。ワークショップの内容については小レポートとしてまとめる。 予習（時間）：前半の講義を振り返り、理解度を確認する。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、小レポートを作成する。（180） 「地域活性化とまちづくり」 地域活性化や魅力ある地域づくり・まちづくりの実践について、先行事例から学ぶ。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120） 「地域社会とコミュニティビジネス」 地域の課題を住民が主体となって、ビジネス手法を活用しつつ解決していくコミュニティビジネスについて、その事例を含めて学ぶ。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120） 「地域社会とコミュニティデザイン」 人をつないでコミュニティを作り出すための方法を策定（デザイン）し、コミュニティを活性化するという手法を用いる、コミュニティデザインについて学ぶ。 予習（時間）：前回に示された課題について取り組む。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこなう。（120） 「まとめ」 これまでの講義を振り返るとともに、地域社会の未来について議論する。 予習（時間）：これまでの講義の振り返りを行い、不明な点を明確にしておく。（120） 復習（時間）：講義内容を再確認するとともに、要点の整理をおこない試験の準備をおこなう。（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（商学科）の1項目を意識した科目となっている。 2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 DP（経営学科）の1項目を意識した科目となっている。 2. 地域における経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解し、活用できる能力 【身に付くスキル】 創造的思考力・地域力
到達目標	(1) 地域・コミュニティにおける問題/課題の背景にある、社会的な構造を把握、理解すること。 (2) 地域・コミュニティにおけるさまざまな活動に取り組む人・組織とその活動を知ること。 (3) 地域・コミュニティに与える活動に関わるための基礎的な知識と手法を身につけること。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小レポートやグループワーク等については取りまとめたうえ、解説をおこなう。
履修上の注意	授業では講義のほか、適宜、学生同士のグループワークをおこなう。また学生の地域活動やボランティア活動などの参加を推奨する。
成績評価の方法・基準	平常点と小レポート、グループワーク（40%）、筆記試験（60%）
教科書	
参考書・教材	【教材】講義では、パワーポイントの使用とレジュメを配付して説明する。教科書は使用せず、参考文献については適宜紹介をする。 コミュニティや地域活動に関する具体的事例を紹介するため、映像資料（ブルーレイ・DVD）を使用する場合がある。
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	「Melly」